

みんなで生き方を考えよう！

文責：道徳主任

平成24年度 道徳教育だより 6月号

上赤 義人

道徳の時間と弁当の日

5月28日(月)に弁当の日の取組がなされました。生徒ひとり一人の、工夫をこらした弁当を見ることができました。海苔でイラストを作った弁当、色とりどりのつまようじ(スティック)を使っている弁当、フルーツを添えていた弁当など様々な弁当がありました。また、弁当づくりを通して感謝の気持ちや達成感を味わうことができた生徒も少なくなかったようです。

その後、このような弁当の日の体験を生かしながら、道徳の時間を担任が中心に創りあげました。担当教師が、生徒につかませたい道徳的価値を設定し、その価値を考えさせるために資料等を活用して授



実施した学年・クラス	主題(つかませたい道徳的価値)	資料(道徳的価値をつかませるために授業で活用したもの)
1-1	自主 自律	読み物
1-2		「こげこげ
1-3		弁当」
1-4		
1-5		
1-6		
2-1	感謝	読み物「夜のくだもの屋」
2-2	感謝	読み物「夜のくだもの屋」
2-3	個性	読み物「どうながダック」
2-4	感謝	読み物「心のノート」
2-5	感謝	DVD「大地からの恵み」
3年(学年集会)	いのち	ビデオ「人のために処分される命」 NHK道徳ドキュメント

業を展開しました。その際、生徒ひとり一人が、その道徳的価値をより自分のこととして感じ、さらには自分自身を振り返ることが確かにできるよう、弁当の日の体験を想起させました。

本校では、道徳の時間において、他の教育活動と密接な関連を図りながら計画的、発展的な指導によって補充・深化・統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育てようと全教師で日々努力しています。ご家庭においても、弁当の日や道徳の時間のことなどを話してみてください。

こげこげ弁当

「この弁当すいでしょう？ 肉もタマネギもナスも 焼きすぎて 真っ黒。でも、わたしはこの弁当がとっても好きなんです。」

持ってきたのは、中学2年ゆうき君でした。1年のときから数えて、4回目だった「弁当の日」。いつも、卵焼きやサラダを詰めたきれいな弁当をたべていたはずなのに、なぜか、この日は「こげこげ」。「お前、よっこまでこがしたなあ！」弁当の時間。クラスの友だちは、こげこげ弁当を見て大笑い。でも、本人は、とてもうれしそうにしています。後から知ったことですが、実は前の日の夜、ゆうき君の家でこんな出来事があったのです。

「おかん、今までおかんにこっそり作ってもらってたけど明日の弁当は、おれが作る。」

「何言ってるの、勉強があるやろ。弁当はわたしに任せとけばええ」

「うちのクラスでもな、『自分で作った』『おれも全部作った』ってちゅう友だちがどんどん増えとる。おれも、自分で作りたいんや」「中学生なんだから、勉強がいちばん！ 夜、ぎりぎりまで勉強して、朝、ぎりぎりまで寝てなさい。わたしがちゃんとしておいて、おいしいの、持たせてあげるから」「おれ、自分で作りたいんや」「おかん、たのむ。作らせてくれ！」「作らせてくれ！」「なあ、作らせてくれ！」「何度も何度もうったえるゆうき君に、お母さんは、とうとうキレてしまいました。」

「そこまで言うんやったら、勝手にしなさい！」

次の日の朝、ゆうき君は、いつもより早く起きて、ひとりで弁当を作りました。できあがった弁当を見たお母さんは、あわてました。「ちよっと待って！ それ、教室で、みんなの前で、ふたを開けて食べるつもり？」「おかん、ばかか。ふたを開けんと食べられんやないか」「冗談でしょ？ そんな弁当持っていかれたら、わたしの料理のレベルまでうたがわれる！」「お母さんは、まっ黒になった肉と、自分が作ったきれいな卵焼きとを、入れかえよとしました。今度はゆうき君が大きな声を出す番です。「これはおれの弁当や！ 自分で作った弁当を自分で食べるのが『弁当の日』や！」「こっして、ゆうき君の弁当は、4回目にして、こげこげになったのです。」

その日のランチタイム。「すい！」「かわい！」「おいそー！」「いりどりよくまとめた弁当を、みんなが見せ合う中で、ゆうき君の弁当はひとときは目立つ「地味弁」でした。それでも、ゆうき君は弁当箱を自慢げに広げおいしそうに、うれしそうに一粒も残さず平らげました。わたしは、このこげこげ弁当を密かにこう名づけました。

「独立宣言弁当」翌月も、翌々月もゆうき君は、自分の手づくり弁当をもってきました。でも、もうあんなにこげこげではありませんでした。

